

小中学生を対象に起業家精神を育む企画を実施

～千葉市動物公園で動画作成「CHIBA-ZOOTUBE（千葉ズーチューブ）プロジェクト」始動！～

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社取締役兼代表執行役会長）は、ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム Seedlings of Chiba に参画し、次世代の産業を担う子どもの起業家精神を育む機会を提出するために、様々な取り組みを実施しています。

この度、この一環として、参加者の小中学生が千葉市動物公園の広報担当職員の立場になり、動物福祉のPR動画制作の企画を実施しますので、お知らせします。

記

1 概要

「動物たちが健康で、過ごしやすい環境をつくる」という千葉市動物公園が抱えている課題を、動物福祉の観点からどう伝えればいいのかという広報の重要なテーマに取り組みPR動画を制作の体験を通じて、参加者は社会人ボランティアなどからのアドバイスを受けながら、課題解決に取り組む中で、働くことや地域社会との関わりを学習することで、アントレプレナーシップ（起業家精神）を育みます。

当財団は、この企画に賛同し、持続可能な社会を実現のため、絶滅の危機に瀕している野生動物や人類との共生関係を理解し、ひいては地球環境を守る将来の起業家育成の機会を提供します。

2 日程

10月14日（土）9：30～16：00（開会式、課題説明、絵コンテ作成、企画提案、撮影）

10月15日（日）9：30～16：00（撮影、編集、発表、閉会式）

※閉会式（発表）はご家族の方など一般の観覧が可能です。

3 会場

千葉市動物公園（若葉区源町280番地）

4 参加対象・定員

千葉市内在住又は在学の小学4年生～6年生、中学1年生～3年生（定員16名）

5 主催

ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム Seedlings of Chiba

6 協力

千葉市動物公園、公益財団法人イオン環境財団、303BOOKS 株式会社

以上

参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「環境活動助成」「環境教育」「パートナーシップ」の4つの事業を中心に活動に取り組んでいます。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム Seedlings of Chiba】

小・中・高校生向けの教育活動や普及啓発などを、産学官のコンソーシアムで一体的に展開し、地域全体としてアントレプレナーシップ教育に取り組む文化や土壌を作り、将来の産業人材の育成を推進する団体です。 【URL】 <https://seedlings.jp/>

主な事業：西千葉子ども起業塾、出前授業

構成 13 団体 ※五十音順

- ・企業等：公益財団法人イオン環境財団、株式会社ウィル・シード、303BOOKS 株式会社、JFE スチール株式会社東日本製鉄所、株式会社 Zozo、株式会社拓匠開発、株式会社千葉銀行、株式会社ビジネス・ブレークスルー、株式会社プロシードジャパン
- ・大学： 敬愛大学、千葉経済大学、国立大学法人千葉大学
- ・自治体：千葉市

◆2021年12月 20日の設立記念セミナー◆



ちばアントレプレナーシップ教育
神谷市長 開会挨拶



イオン環境財団専務理事山本 挨拶



記念フォトセッション

◆2022年10月1日・8日・15日に開催された「千葉市動物公園の魅力PR動画を作ろう！」企画◆



動画編集



発表会

【千葉市動物公園における連携協定】

2023年7月13日（木）、当財団は、千葉市（市長 神谷俊一）と、千葉市動物公園における生物多様性に関する連携協定を締結しました。これまで両者が協力して行ってきた活動をさらに発展させていきます。

連携事項(3カ年計画)

1. 環境、生物等の調査・保全に関する事項
2. 植樹に関する事項
3. 環境教育活動に関する事項
4. ボランティア活動に関する事項



連携協定記者会見
左から 鍋木園長、神谷市長、山本専務理事